

今号では、愛媛県から受託している「集落活性化意識醸成支援事業」の、今年度の実施地区である「今治市吉海地区」の活動についてご紹介します。NPO 法人アクションアイランドの矢野都林（やのくにしげ）さんは、耕作放棄地を活用したオリーブ栽培や、里山づくり、黒にんにくの栽培など多岐にわたる活動をされています。集落活性化意識醸成支援事業では愛媛大学社会共創学部の先生方と学生が地域へ赴き、矢野さんを始め地域住民の方々への聞き取り調査やフィールドワークを実施して、地域の課題や目標を探っています。

本紙が皆さまの地域で活動される上で、ご参考になれば幸いです。

今治市吉海地区

キーワード：オリーブ栽培、耕作放棄地の活用、関係人口

## ★今治市吉海地区について

今治市の中心市街地のある平野部から北東 10km の海上に位置する大島。その西半分を占める地区が吉海地区で、亀老山展望公園やよしうみバラ公園などは観光地として人気です。人口は 3,411 人で高齢化率は 46.7% です。しまなみ海道が通っており、平野部から来島海峡大橋を渡り大島南 IC を下りれば吉海地区に着きます。北東には宮窪地区があり、さらに北の伯方・大島大橋を渡れば伯方島があります。



今治市吉海地区

## ★「NPO 法人アクションアイランド」について

「NPO 法人アクションアイランド」は、代表の矢野都林さんが中心となって耕作放棄地を活用したオリーブ栽培や、放置竹林を切り開いての里山づくり、歩いてみよや島四国などのイベント、黒にんにくの栽培など様々な活動をしています。



収穫した黒にんにく



オリーブの加工の様子

## ★これまでの地域活性化への主な取組み

### ■放置竹林を切り開いての里山づくり

### ■黒にんにくの栽培

黒にんにくは、NPO 法人の活動拠点でもある旧亀山保育所の園庭を利用し、1,000 m<sup>2</sup> の畑で年間 800kg ほどを収穫しています。

### ■オリーブの栽培・加工

オリーブの産地化を目指して、生産者や地元企業、JA、自治体等で構成する連絡会を設立し、活動を進めています。

### ■関係人口の創出

毎年、東京の大学生達 20 人ほどに 10 日間程度「島暮らし」について体験してもらっています。改装した初代吉海町長の自宅（田浦地区）に宿泊してもらいます。また当古民家は善根宿として提供されています。

■その他、吉海地区に流れている天井川である「舩(もやい)大川」の維持管理や、草刈りなど地域の暮らしを維持するための活動も行っています。

## 「集落活性化意識醸成支援事業」の取組みについて

### ★「集落活性化意識醸成支援事業」とは

えひめ地域政策研究センターは、愛媛県から委託を受け、平成30年度から2年間に渡って「集落活性化モデル構築事業」を実施しました。3つのモデル地区における人口の増加については現時点では結び付いていないものの、地域住民が主体的に取組みを実践する「意識醸成」については大きく進展が図れました。そこで本年度から実施している「集落活性化意識醸成支援事業」では、集落活性化に向けた地域住民の「意識醸成」の仕組みを全県的に展開し、併せて地域に継続的に関わっていく「関係人口」づくりを促進することで、地域活性化を一過性の機運醸成で終わることなく、地域住民が主体となって持続可能な集落の活性化を目指しています。

10月10日（土）から愛媛大学社会共創学部の先生方と学生、並びに地域住民とともに、活動を開始しました。2時間余り吉海地区内のフィールドワークを行い、NPO法人アクションアイランドの活動拠点である旧亀山保育所や亀老山展望台、オリーブ園などをまわりました。矢野さんにこれまでの地域活性化の取組みをお話いただいた後、フィールドワークを踏まえた感想・意見交換を行い、吉海地区の印象や、地域課題について情報共有しました。



2回目のフィールドワークでは、Aコープ吉海店前で行われている農産市について視察・聞き取りを行った後、島四国の66番・67番札所を見て回りました。その後は地域全体のこと・農地関係のこと・協力隊の活動のこと・地域の暮らしのこと等、グループに分かれて聞き取りを行いました。また、11月1日（日）に行われた「よしみ秋のバラ祭り2020」にも参加し、コロナ禍の中で久しぶりにイベントの賑わいを感じることができました。

12月には、島根県にある（一社）持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長を招いて「地域分析ワークショップ」を開催しました。吉海地区の50年先の人口予測や安定化を図るためのアドバイスなどの講演をいただき、その後の意見交換会では「仕事づくりも大事だが、地域の男女が自然に出会う場所が大切だ」「半農半Xで、半分は地域に根差した生業を行うのが良い」「お金が外に流れず、地域の中で循環させる仕組みを、小さなことから作っていききたい」など、活発な議論が交わされました。今後、愛媛大学社会共創学部の学生から地域住民の方々に對して、成果報告を行う予定となっています。



### ★取材後記

今号ではNPO法人アクションアイランドの活動内容に加え、集落活性化意識醸成支援事業の取組みも紹介しました。また、藤山浩所長の人口分析では人口減少の厳しい数字を示されたこともあり、改めて地域活性化の取組みの難しさを関係者で共有できました。今回、本紙でご紹介しました今治市吉海地区の地域活性化に向けたこれらの取組みが、愛媛県内各地域で活動されている皆さまのご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

### 地域の活動情報の連絡先/この情報紙に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: [chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp](mailto:chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp)

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: [info@ecpr.or.jp](mailto:info@ecpr.or.jp)